

かがやく女性

題字
福井県知事 栗田幸雄
第13号
発行者
(財)ふくい女性財団

「女と男」共に輝く参画社会

六月二十三日、「男女共同参画を考える日」を記念して、県生活学習館において基調講演やパネルディスカッションが開かれた。女性団体関係者ら約四百人が参加して、女性が力を発揮できる社会をつくることを誓った。一九九九年六月二十三日に男女共同参画基本法が制定されたのを記念して、県が毎年行っており今年で三年目。

基調講演では大阪大学の伊藤公男教授が「女性が働きながら出産できる社会は、少子化に歯止めがかかる」「男性が積極的に家庭にかかわれば家庭のきづなが深まる」と強調された。その後、伊藤教授がアドバイザーとなつてパネルディスカッションが行われた。

「地域の中で取り組む男女共同参画社会づくり」をテーマにしたパネルディスカッションでは、四人のパネリストから男女混合名簿の作成・自治会の規約改正などの成果が報告され、それぞれの活動を通して意見が出された。なお、当日永年男女共同参画社会づくりに貢献した次の個人、団体の功労者が表彰された。

個人の部(敬称略)

浅田ひで子(福井市)
木村登貴子(大飯町)
坂口 雅子(武生市)
中積 和子(小浜市)
山本恵美子(春江町)
団体の部(敬称略)
武生女性ネットワーク
大野女性ネットワーク
鯖江女性ネットワーク

ありがとうございました。

「女性のつとい」開催時に実施しましたバザーでは、皆様に変なご協力をいただき盛会のうちに終了する事が出来ました。皆様のご支援、あたたかいお心、本当にありがとうございました。

バザー収益金	映画入場券	615,800円(当日券含む)
	食券・昆布券	1,187,280円
	レターセット	15,600円
	物品販売	300,350円
	バザーに伴う寄附金	222,800円
合 計		2,341,830円

(収益金) (印刷代・事務費・映画フィルム使用料含む)
2,341,830円-514,909円=1,826,921円
(税金は後日請求に応じて支払います)

厚い収益金はふくい女性財団基金に充当させていただきます。

(財)ふくい女性財団理事長 光成正子
21世紀にかがやく女性のつとい実行委員長



財団法人 ふくい女性財団 役員名簿

理事長 光成正子 福井県婦人福祉協議会会長
副理事長 辻 きのこ ふくいの生活と婦人問題研究会会長
田中道子 JA福井県女性組織協議会会長
細川豊子 福井県地域活動協議会会長
安藤スミ子 福井県県民生活部長
専務理事 広部正紘 福井県交通安全母の会会長
事務局 天谷保子 福井県交通安全母の会会長
天野寿美恵 国際交流はきの会会長
政野澄子 福井県ファミリーサービスセンター会長
瓜生ヒサ子 福井県県民生活改善推進員連絡協議会会長
河原はつ子 福井県連合婦人会会長
浅田ひで子 福井県男女共同参画推進員会長
小林年子 しずく女性ネットワーク会長
木村登貴子 おおい女性ネットワーク会長
藤田博文 福井県県民出納長
清水瑠美子 福井県県民出納長
相談役 湯浅雪子 前財団法人ふくい女性財団理事長

(財)ふくい女性財団評議員名簿

倉友秀子 職 職 職
下川道雄 財団法人福井県産業支援センター理事長
大正光子 学校法人大正学園理事長
長森 恵 福井県労働局雇用均等室長
名越清家 福井大学地域科学部教授
橋詰武宏 福井新聞論説委員長
壬生佐久子 職 職 職
宮越洋二 福井県南振興局二州健康福祉センター医監

常任企画運営委員会名簿

委員長 水上幸衛 福井県漁協女性部連合協議会
副委員長 幅口芳枝 大野女性ネットワーク
委員 泉幸枝・政野澄子・和田富士子・山崎まり子・杉本佳子・岩端るみ子・湯谷千里・辻節子・久保陽子・澤崎悦子・山本美恵子

ふくいきらめきフェスティバル2002

21世紀にかがやくふくい女性のつどい

とき平成14年9月28日(土)29日(日)



講演

子育てにおける大人の役割



木元教子氏

木元教子氏の講演では、子育ての基本は子供を自立させることである。そのためには女性自身の自立がまず大切である。又夫婦の場合は「世話女房を美德」とする傾向があるが、それが夫の自立を妨げているのでは?と提言。男女共同参画社会を実現させるには、生活の中で男も女も共に自立するということが重要であり、「自立」とは自分の事が自分で出来ることである。(自分の人生を創るのは自分でしかない)と、歯切れの良いことばで締めくくられた。

男女共同参画社会の普及推進について考える「ふくいきらめきフェスティバル2002」がユニー・アイふくいで開催された。二十一世紀は、少子高齢化の時代です。これに対応できる豊かで活力ある社会づくりが最重要課題となっています。そのためには、男女が共にその個性と能力を十分に発揮することが出来る男女共同参画社会の実現が大切です。今年のテーマは「パートナーとともにホップ・ステップ・ジャンプでした。」

ゆー・あいカレッジ

”男女共同参画総合セミナー“

落語家、桂文也氏の「笑って、感じて、気付いて、変わる」と題しての講演と、落語「目覚めのススメ」を楽しんだ。
ジェンダーとは、生物学的ではなく、社会的な固定的役割意識であり、「人間尊重が原点である」という人の生き方を通して具体的に、ユーモラスに話された。



映画

”元始、女性は大太陽であった”

「平塚らいてうの生涯」

明治時代より、女性の解放と世界の恒久平和のために真摯に生きたらいてうの生涯は、個の自覚なくして真の人間革命、女性解放はないという考えに基づいている。自らの内面を鍛えあげ、強い信念をもつて、行動へまっすぐつなげていった「平塚らいてう」の存在を映像を通して学び、感銘をうけた。

男女共同参画普及コンテスト入賞者



新企画の男女共同参画社会普及コンテストに、5組の個人・団体が参加した。それぞれのグループは、寸劇、漫才、合唱など趣向を凝らして、家庭や職場で男女が助け合う理想の社会を表現していた。

- ★最優秀賞 岩端るみ子(武生市)
- ★優秀賞 今立町婦人団体連絡協議会(今立町)
大野女性ネットワーク(大野市)
- ★入選 ふくいの生活と婦人問題研究会(福井市)
はるえデコボコ隊(春江町)

平成十四年度 二十一世紀にかがやくふくい女性のつどい 意見文入賞者

一般の部(大学生以上)

★最優秀賞 小林年子(清水町)

★優秀賞 牧野幸子(福井市) 加藤智美(今立町)

★入選 尾野淑子(美山町) 笠松静枝(同)

★入 藤本のり子(福井市)

意見文 学生の部

★最優秀賞 八木康太(美方高)

★優秀賞 菊野詠子(羽水高) 佐々木浩孝(安居中)

★入選 細川藍(羽水高) 河内亜也子(美方高)

★入 高橋さやか(同) 明城千佳子(万葉中)

長野県東部町女性団体連絡協議会から二十四名が、二十八日のフェスティバルに参加、終了後女性財団と交流会が持たれた。互いに情報交換し、刺激あいながら、男女共同参画社会実現にむけて前進することを、確認しあった。

男女共同参画社会づくり功労者



内閣官房長官表彰受賞
湯浅雪子氏

(財)ふくい女性財団の前理事長湯浅雪子氏は、永年にわたる県内の食生活改善推進員としての活躍と(財)ふくい女性財団設立にご尽力され、県内の男女共同参画の推進に貢献されるなど女性の地位向上および社会参加の促進に尽力されました。この功績が認められ、去る6月25日に内閣総理大臣官邸に於いて表彰を受けられ、受賞者を代表して謝辞を述べられました。

福井県では、二人目の受賞であり、私たち女性にとりまして極めて喜ばしい事であり心からお祝いを申し上げます。

今後共益々ご活躍される事をご期待申し上げ一同の喜びといたします。

リーダー研修会を終えて

(ふくい女性財団主催)

平成十四年度 各女性団体・各市町村ネットワークリーダーを対象に研修会が開催された。

七月六日(土)若狭ブロックに始まり、七月二十六日(金)坂井ブロックを最終に県下七ブロックで研修会を開催した。出席者は、二会場五十名前後から八十名前後と熱心なトークが行われた。

当日の日程は、講師による講演、参加者のフリートーク「今、リーダーに何かもとめられているか」を中心に活発な意見が出された。この研修会が各市町村のネットワークの組織強化につな

がり、女性の地位向上、政治参画等様々な分野に積極的に参画できる女性になることを念じています。

今後の男女共同参画社会づくりに向けての策定プランの取組み・各市町村での条

例づくり等、それぞれの市町村が男女共同参画都市宣言までに進められることを願っております。

ふくい女性財団が
情報紙づくり研修会開催

六月二十八日ユー・アイふくいで、平成十四年度情報紙づくり研修会(女性財団主催)が開催されました。

講師に四戸友也氏(福井新聞社読者センタール長)、永田康弘氏(同センタール部長)を迎え、紙面づくりの基本を学びました。会場には、県下各団体の広報担当者らが多数集まり、熱心に講義に耳を傾けていました。内容は、紙面作成用のソフト



を使い、記事の書き方、見出しのつけ方、レイアウト等をスクリーンに映写しながら説明するもので、受講者からは「実際に紙面が出来上がる様子を目にでき、わかりやすい」と好評でした。

また会場では、「白黒写真をきれいに載せたい場合はどうすればよいか」「数字の統一の決まりはあるのか」など多数の質問が飛び交い、実践に向けての意気込みが感じられました。

最後に講師は、「この研修会で学んだことを生かして、機関紙だけに留まらず、学校新聞、家族新聞等、コミュニケーションの幅を広げてください」と締めくくられました。

“進んでいます” 政治参画

福井県における女性議員の状況 H14.8.26現在

	議員総数	女性議員	女性比率(%)
県会議員	40(38現)	1	0.025
福井市	35	3	8.6
敦賀市	26	3	11.5
武生市	28	3	10.7
小浜市	24	1	4.2
大野市	21	2	9.5
上志比村	12	1	8.3
三国町	20	1	5.0
芦原町	16	1	6.3
金津町	20	1	5.0
春江町	20	1	5.0
今庄町	14	2	14.3
朝日町	14	2	14.3
美浜町	18	3	16.7
大飯町	16	1	6.3
その他市町村	310	0	(2市14町5村)
総数	594	25	4.2

行事や全国レベルのサミット等に進んで参加協力し学びの機会を得ながら交流の輪が広がられるよう、会員同志の更なるエンパワーメントをめざしたいと心から願って活動したいと思っております。



会長 久保陽子

○男女共同参画社会を考える女性のつどい

女性ネットワーク活動を紹介し、男女共同参画推進のための広報紙を九月・二月に作成、九月には全戸に配布して市民への理解と協力をお願いします。



私らしく
あなたらしく
共に輝く参画社会

情報
コーナー

ふくい女性財団から

（パッチワークキルト・押し花・健康料理・親子体操）

女性サミット 2002福井

男女共同参画社会の実現に向けて

●平成14年11月2日(土)・3日(日)
●福井県生活学習館 ユー・アイふくい 福井市下六町14-1

11月2日(土) 13:30~16:30
オープニングセミナー
4名の女性リーダーによる総論講演と昼食会

11月3日(日) 10:30~16:30
記念講演「21世紀は女性が拓く」



学科会(ワークショップ) ①「軍政・地域での戦況の把握」、戦場の位置
 ②「戦山湾行における両軍共同戦術の確立」
 ③「戦く嶺における両軍歩哨の監視」
 ④「文壇に対する軍力の情報」
 主催会(対話会報告)「サミット」義経

生活學習館から

*ゆー・あいカレッジ

男女が共に学ぶコース

・女と男・素敵な関係セミナー

・私の生き方セミナー

男性コース

・新・生活の達人講座

(会場：敦賀市中央公民館)

(会場：若狹図書館学習センター)

女性の社会参画誌『楚歌』

十月十三日(日) 十一月三日(日) 金五日

(会場・生活学習館)

二月十三日(木) 二月二十日(木) 金五日

女性のための健康相談会

平成十四年十月二十七日(日)
平成十五年二月(予定)

編
集
後
記

秋も深まり、紅葉の美しい季節を迎えました。

今回の「かがやく女性」第十三回の発行は、「二十一世紀にかがやくふくい女性をつどい」を主役に男女が共に生きる社会の実現、行動を編集させて頂きました。

男、女が良きパートナーとして、互にやり、助け合い、感謝を忘れず、よい人生を送りたいものです。

発行先
(財)ふくい女性財団

〒九一八-八三三五 福井市下六条十四の一
福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)ニF

TEL (〇七七六) 四一四二五〇
FAX (〇七七六) 四一四二六〇